

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
19・3・16(土)
南NEWS no 143

J1第2節。松本山雅VS大分は1-0の僅差でしたが、松本山雅の完勝でした。

データにはっきりと表れているのです。それはスプリントした数の差なのです。松本山雅216に対して大分は168。松本山雅は走行距離の合計でも12キロ半を越えて相手を上回っているのです。

スポーツNEWSを観ましたが、相手陣内で数的優位を保ってシュートカウンターを徹底していました。

第1節で強豪鹿島を撃破、第3節も勝利の好調大分を1-0のスコアでしたが内容では圧倒したのです。

3月10日(日)の八王子招待ではその話もしたのですが、まだ理解できていないようです。

自分のポジションの役割の理解も含めて、数的優位を保ってシュートカウンターをするには何が必要かをみんなが理解する必要があります。

by 南のアンパンマン



【5年生試合レポート】

八王子招待たましんカップ

ブロック代表トーナメント

2019/3/10(日) 文化大G

《試合のめあて》

5つ観てコーチングする、インナーラップ・オーバーラップをする、クサビからの展開

○南八王子16-0 平山FC-A 前半8-0

得点=ソラ4、モカ2、カンナ2、セイジュン2、シュンセイ2、ミツキ、ワヘイ、コウイチ、レオン アシスト=レオン4、シュンセイ2、トウイ、ソラ、モカ、ミツキ、セイジュン

○南八王子0-0 ARTE片倉 PK 2-3負

《当日の様子》

先週の一次予選ブロックが雨天中止になり、一日でブロック代表を決めるトーナメントになりました。市内外から集まった8チームから勝ち抜ければ、次週は天然芝で観客席付きの上柚木競技場で試合ができます。

相手は学年が下のメンバー主体だったそうで、得点を量産しました。立ち上がり直後から相手クリアのこぼれをセイジュン君が中央から決めると、その後はソラさんが前半だけでハットトリック、カンナさんもドリブルから久しぶりのゴールを決めました。立て続けにワヘイ君、シュンセイ君、モカさん、コウイチ君、ミツキ君らが中央から突破し押し込みます。たくさんの子にシュートを決めさせようと、レオン君やセイジュン君がゴール前で決定的なラストパスをたくさん出し、圧勝で1回戦突破です。

初戦の大量得点で逆に嫌な予感を感じた2戦目、不安は的中してしまいました。前後半とも支配率は圧倒的に南が上回り、攻め続けましたが、あと一步でディフェンダーに当ててしまう、枠を捉えきれない、またはキーパー正面のシュートが多く、なかなか得点を奪えないままタイムアップ。

1戦目の得点を2戦目に残しておいたほうが良かったのでは？、なんて思いながら、相手は初戦もPK戦で勝ち上がった勢いもあって、守りに徹してのPK勝負には自信があったのかも、着実に決め、南は敗れてしまいました。

相手のカウンターにも見事な飛び出しで懸命に防いだGKシオン君の悔し涙が心境を表す、残念な敗戦で幕を閉じました。ARTE片倉は直後の決定戦でも勝利し、このブロックの代表になりました。悔しいですが勝負強さの差が出た、敵ながらあっぱれの結果でした。

《コーチ所見》

審判講習会で岡村コーチと一緒にいった上柚木競技場を見て、「こんなきれいなフィールドで皆に真剣勝負を体験させたいですね」そう感じながらブロック代表を目指しましたが、今回は行けませんでした。

判定勝ちのルールがないサッカーでは、今日みつけた課題である、狭いサイドから前に進む単調な攻撃だけでは、良い結果は伴わないことも多いです。

最近取り組んでいる中央をクサビにした第三の動き、めあてにも挙げたインナーラップを混ぜた多彩な展開、決めるべきシーンでの得点力などを、普段の練習から真剣に取り組み、身につけましょう。夢の続きは、もっと大きな舞台でのお楽しみにとっておこうね。

by 田邊コーチ

試合前に

「先発で出る子は、みんなが試合に出られるように最初からガンガン飛ばそうね」と話して、山本語録『エネルギーを出し尽くした人から交替』、F東長谷川監督語録『勝つために必要なことを厳しくやっているチームが勝つ』、矢上語録『ボールの位置によってポジションを変える等の基本をサボらずに厳しくやっているチームが勝つ』と続けました。

“優しく強い子に育ててほしい”は南の願い・目標です。先発の子は、ベンチで応援してくれるみんなが出られるような試合展開を創り出さなければいけないのです。仲間を思う優しさがあればGAMB Aる強さを発揮できるのです。



『モチモチの木』のまめ太を思い出してください。by 南のアンパンマン

